



【専門分野】

科目名	小児看護学概論	講師名	非常勤講師	学年	2	履修期	第1学期		
単位	1単位								
時間数	30時間(内15時間)								
授業概要	<p>小児期は人間の一生のなかで最も成長発達の著しい時期である。そして小児の心身の成長発達は環境によって影響を受けるため、小児を取り巻く環境を視野に入れ対象を理解する必要がある。そのためこの科目では、小児看護の対象である小児各期の成長発達の特徴を身体的・精神的・社会的側面から理解し、小児の健全な成長発達を促すための援助や、成長発達段階を踏まえた事故防止について学習する。</p>								
授業科目目標	<p>1. 小児を取り巻く環境、社会、保健医療制度の仕組みを関連づけて、小児各期の特徴が理解できる。 2. 小児看護の特徴と役割について理解できる。</p>								
授業計画	<p>1回：小児の成長発達 1) 成長発達とは 2) 成長発達の進み方 3) 成長発達に影響する因子 4) 成長発達の評価</p> <p>2～4回：小児各期における成長発達の特徴と発達課題 (エリクソン、ハヴィガースト) 1) 形態的、生理機能的特徴(第二性徴) 2) 精神運動機能的特徴(基本的生活習慣) 3) 知的(ピアジェの認知発達理論)・情緒・社会的機能の特徴 (養育環境、コミュニケーション能力、自我、自立、学校への適応、仲間との関係、異性への関心)</p> <p>5回：小児の遊びの発達(運動・学習と遊び)</p> <p>6回：小児の栄養と食生活の特徴 1) 栄養の意義 2) 小児各期の食生活の特徴(授乳、離乳を含む) 3) 食生活上の問題と食育(生活習慣病の予防)</p> <p>7回：事故防止と安全教育・安全対策(感染予防) 小児を取り巻く社会環境、問題行動と対応 セルフケアと保健教育</p> <p>8回：終了試験</p>					講義	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験								
テキスト	<p>1. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論, 医学書院.</p>								
学生へのメッセージ	<p>小児看護を実践するにあたって基本となる知識や考え方となるため、小さな子どもと関わった経験の少ない学生は自分の子どもの頃を思い出したり、ご両親に自分の子どもの頃のことを尋ねたりしてみてください。また小児の成長発達においては、エリクソンの発達課題を想起し関連させながら理解するようにして下さい。 【関連科目】心理学、解剖生理学Ⅰ～Ⅳ、栄養学、精神看護学概論</p>								